

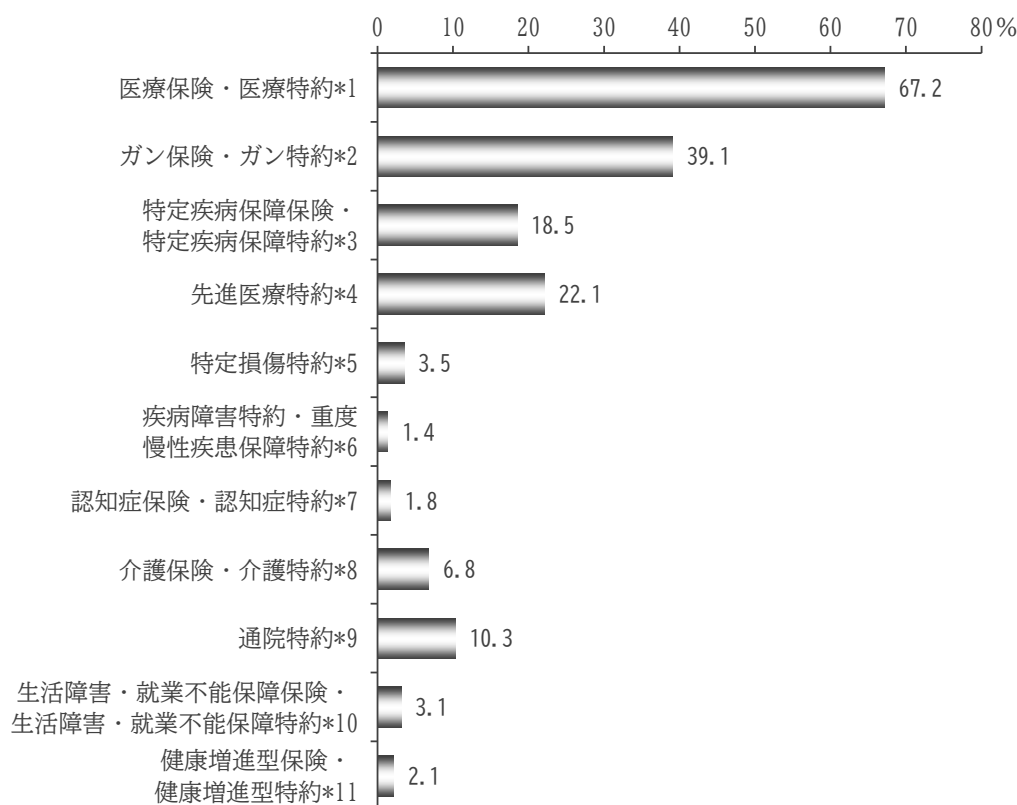
3

民保の特定の保障機能を持つ 生命保険や特約の加入状況

(1) 特定の保障機能を持つ生命保険や特約の加入状況

民保加入者（かんぽ生命を除く）における特定の保障機能を持つ生命保険や特約の加入状況についてみると、「医療保険・医療特約」が67.2%で最も多く、以下、「ガン保険・ガン特約」(39.1%)、「先進医療特約」(22.1%)、「特定疾病保障保険・特定疾病保障特約」(18.5%)の順となっている。(図表 I-45)

〈図表 I-45〉特定の保障機能をもつ生命保険や特約の加入状況（民保加入者ベース）
（複数回答）



* 民保（かんぽ生命を除く）加入者が対象

*1 病気やケガで入院したり所定の手術を受けたときに給付金が受け取れる生命保険、あるいは特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

*2 ガンで入院したときに入院給付金が受け取れる生命保険、あるいは特約が付加された生命保険であり、生活習慣病（成人病）特約、損害保険は含まれない

*3 ガン、急性心筋梗塞、脳卒中の3大疾病により所定の状態になったとき、生前に死亡保険金と同額の特定疾病保険金が受け取れる生命保険、あるいは特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

*4 所定の先進医療による療養を受けたときに、給付金や一時金が受け取れる特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

*5 不慮の事故により、骨折、関節脱臼、腱の断裂の治療をしたとき、給付金が受け取れる特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

*6 以下のような身体に所定の症状あるいは状態が生じた場合などに、一時金で給付を受けられる特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

- ・ 心臓ペースメーカー、人工透析、人工肛門などの所定の治療を受けた場合
- ・ 高血圧症、糖尿病、慢性腎不全、肝硬変などの特定の慢性病により所定の症状と診断された場合
- ・ 視力、聴力、言語、そしゃくなどの所定の機能障害が生じた場合

*7 所定の認知症になったときに、一時金や年金が受け取れるものであり、寝たきり等の認知症以外で介護の必要な状態となり、その状態が一定期間継続したときに一時金や年金が受け取れる「介護保険（介護特約）」は含まれない

*8 寝たきりや認知症によって介護が必要な状態になり、その状態が一定の期間継続したときに、一時金や年金などが受け取れる生命保険、あるいは特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

*9 疾病・災害入院給付金の支払事由に該当する入院をし、退院後所定の期間内にその治療を目的として通院したときに、通院日数分の給付金が受け取れる特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

*10 病気・介護・障害など、所定の就業不能状態となったときに一時金や年金が受け取れる生命保険であり、損害保険は含まれない

*11 健康増進にかかる取組により、「保険料」への影響がある（キャッシュバック等があるものを含む）生命保険であり、損害保険は含まれない

性別にみると、男性で「特定疾病保障保険・特定疾病保障特約」が女性に比べ高く、女性で「医療保険・医療特約」が男性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、30～34歳で「特定疾病保障保険・特定疾病保障特約」が、40～44歳で「介護保険・介護特約」が高く、70～74歳で「通院特約」が高くなっている。(図表 I-46)

〈図表 I-46〉特定の保障機能をもつ生命保険や特約の加入状況（民保加入者ベース）
（複数回答）（性別、年齢別）

		(%)										
		医療保険・医療特約	ガン保険・ガン特約	特定疾病保障保険・特定疾病保障特約	先進医療特約	特定損傷特約	慢性疾患保障特約・重度疾病障害特約	認知症保険・認知症特約	介護保険・介護特約	通院特約	生活障害・就業不能保障特約	健康増進型保険・健康増進型特約
全体		67.2	39.1	18.5	22.1	3.5	1.4	1.8	6.8	10.3	3.1	2.1
性別	男性	63.1	38.1	21.7	21.7	3.8	2.1	1.9	6.7	10.0	4.3	2.4
	女性	71.7	40.3	14.9	22.7	3.2	0.5	1.6	6.9	10.7	1.9	1.9
年齢別	29歳以下	54.0	31.0	14.0	12.0	3.0	2.0	2.0	5.0	6.0	2.0	3.0
	30～34歳	73.8	42.9	33.3	19.0	4.8	2.4	0.0	2.4	9.5	7.1	7.1
	35～39歳	60.4	26.4	22.6	24.5	0.0	0.0	0.0	1.9	13.2	7.5	0.0
	40～44歳	70.6	47.1	26.5	29.4	5.9	2.9	2.9	17.6	8.8	5.9	0.0
	45～49歳	71.6	48.1	23.5	27.2	1.2	2.5	0.0	6.2	9.9	6.2	3.7
	50～54歳	73.8	34.4	19.7	14.8	1.6	0.0	0.0	11.5	9.8	8.2	3.3
	55～59歳	67.1	43.0	19.0	24.1	1.3	0.0	2.5	6.3	8.9	1.3	1.3
	60～64歳	75.0	45.2	16.7	23.8	4.8	0.0	1.2	9.5	9.5	0.0	0.0
	65～69歳	59.7	33.8	11.7	24.7	5.2	2.6	2.6	6.5	9.1	2.6	2.6
	70～74歳	68.6	35.5	17.4	24.8	5.8	1.7	4.1	6.6	16.5	0.8	2.5
75～79歳	71.4	49.2	12.7	22.2	4.8	1.6	1.6	4.8	9.5	0.0	0.0	

*民保（かんぽ生命を除く）に加入している者が対象

年収別にみると、600～700万円未満の層で「特定疾病保障保険・特定疾病保障特約」が高くなっている以外は、大きな差異はみられない。(図表 I-47)

〈図表 I-47〉 特定の保障機能をもつ生命保険や特約の加入状況（民保加入者ベース）
（複数回答）（年収別）

	医療保険・医療特約	ガン保険・ガン特約	特定疾病保障保険・特定疾病保障特約	先進医療特約	特定損傷特約	慢性疾患保障特約・重度	疾病障害特約・認知症特約	認知症保険・認知症特約	介護保険・介護特約	通院特約	生活障害・就業不能保障特約	健康増進型保険・健康増進型特約
全体	67.2	39.1	18.5	22.1	3.5	1.4	1.8	6.8	10.3	3.1	2.1	
200万円未満	65.0	33.6	14.0	19.2	3.3	1.4	1.9	5.6	8.9	0.9	2.3	
200～300万円未満	66.0	41.8	16.3	26.1	4.6	0.7	1.3	4.6	9.2	3.3	1.3	
300～400万円未満	67.2	34.4	18.3	22.9	2.3	1.5	2.3	6.9	9.9	2.3	3.1	
400～500万円未満	70.2	39.4	18.3	22.1	3.8	2.9	1.0	9.6	14.4	4.8	3.8	
500～600万円未満	75.4	47.4	19.3	14.0	5.3	1.8	1.8	5.3	10.5	7.0	0.0	
600～700万円未満	62.8	41.9	34.9	25.6	4.7	2.3	4.7	4.7	11.6	4.7	2.3	
700～1,000万円未満	66.2	45.6	26.5	26.5	2.9	0.0	0.0	8.8	13.2	4.4	1.5	
1,000万円以上	72.0	52.0	20.0	20.0	0.0	0.0	4.0	20.0	4.0	4.0	0.0	

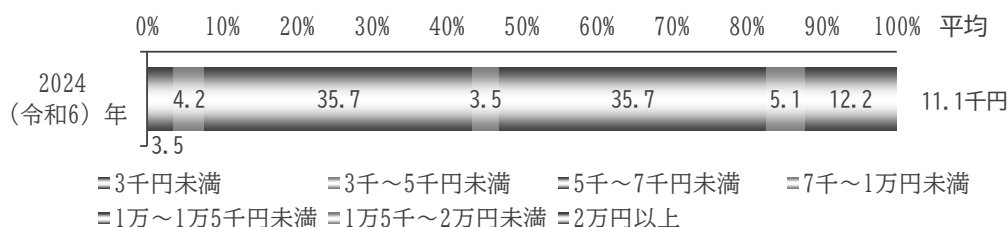
*民保（かんぽ生命を除く）に加入している者が対象

*「1,000万円以上」はNが30未満

(2) ガン保険・ガン特約の入院給付金日額

ガン保険・ガン特約加入者の入院給付金日額の平均は11.1千円となっている。分布をみると、「5千～7千円未満」、「1万～1万5千円未満」がともに35.7%で最も多くなっている。(図表 I-48)

〈図表 I-48〉 ガン保険・ガン特約の入院給付金日額



≒3千円未満

≒3千～5千円未満

≒5千～7千円未満

≒7千～1万円未満

≒1万～1万5千円未満

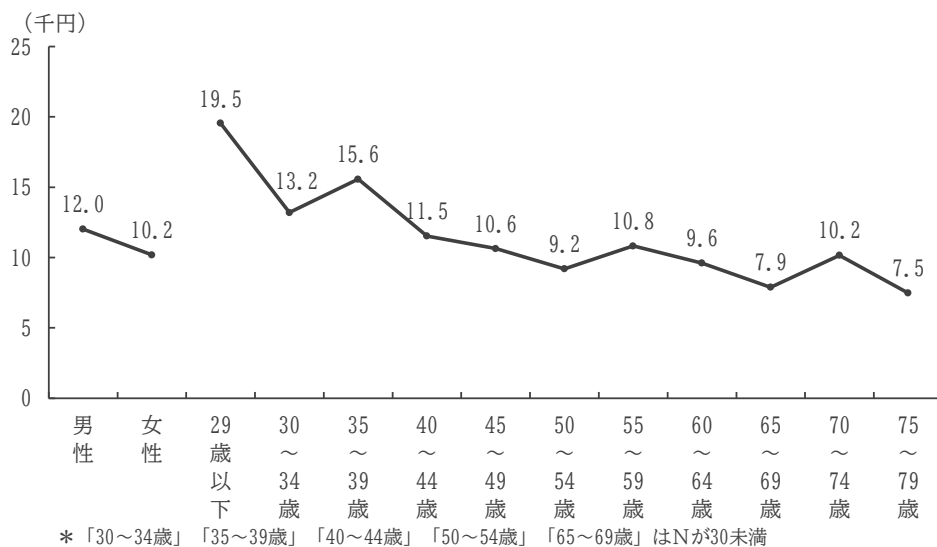
≒1万5千～2万円未満

≒2万円以上

性別にみても、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、29 歳以下で「19.5 千円」と全体に比べ高くなっている。(図表 I-49)

〈図表 I-49〉ガン保険・ガン特約の入院給付金日額（性別、年齢別）



(3) 介護保険・介護特約の介護給付金月額

介護保険・介護特約加入者の介護給付金月額の平均は 5.2 万円となっている。分布をみると、「1～5 万円未満」が 37.0% で最も多く、「1 万円未満」が 29.6% で続いている。(図表 I-50)

〈図表 I-50〉介護保険・介護特約の介護給付金月額

